

第40回全日本少年サッカー大会山形県大会 実施要項

1.趣旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2.名称

第40回全日本少年サッカー大会山形県大会

3.主催

公益財団法人日本サッカー協会 / 公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団 / 読売新聞社
特定非営利活動法人 山形県サッカー協会

4.主管

山形県サッカー協会4種委員会

5.後援

日本テレビ放送網 / 報知新聞社 / 山形放送 / 山形市教育委員会 / 天童市教育委員会
米沢市教育委員会 / 白鷹町教育委員会 / 庄内町教育委員会 / 東根市教育委員会

6.特別協賛

YKK / 花王

7.協賛

日本マクドナルド / 日清オイリオグループ / セビオ

8.協力

モルテン

9.日程・会場

開催日: 2016年10月29日(土)～11月23日(水・祝)

会場: 1・2回戦 天童総合運動公園 / 庄内町八幡スポーツ公園 / 庄内空港緩衝緑地
東根市多目的運動場 / 米沢 SF(サッカーフィールド)

ラウンド 32・16 米沢 SF(サッカーフィールド)

準々決勝 山形県フットボールセンター(東陽の里)

準決勝・決勝 山形市球技場

10.参加資格

- ①「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下「本協会」)第4種に加盟登録し、なおかつ、スポーツ少年団登録していること。
- ②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- ③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
- ④ 2016年8月30日以降に、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- ⑤「参加チーム」及び「参加選手」は、U-12リーグに参加していること。
- ⑥引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級)

一チ以上)を有すること。試合ごとに指導者ライセンス証を1名提示する事。

⑦「参加チーム」はスポーツ障害保健に加入していること。

⑧「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

⑨「参加選手」は、公益財団法人日本サッカー協会の発行した登録選手証(カードの選手証または電子選手証)を有するもの。ただし、写真添付により、顔の認識ができるものであること。毎試合ごとに本部に提出すること。
いかなる理由があっても顔写真添の無いものや忘れた場合は出場を認めない。

※電子選手証とは、日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

11. 参加チーム及びその人数

県内U-12リーグに参加している 115 チーム。

①「加盟チーム」から複数チームの参加を認める。この場合以下の条件を全て満たすものとする。

・「参加チーム」の中に6年生を5名以上登録し重複しないこと。

・引率指導者は重複してはならない。

・地区予選から県大会のメンバー再編成は認めない。

②「参加チーム」の構成は、選手 16 名以内とし、最小エントリーは 8 名とする。

③「加盟チーム」内の地区リーグからの県大会へのメンバー再編成は認めない。

12. 試合方法

①115 チームによるトーナメント方式

②試合時間は、40 分間としインターバルは 10 分とする。

③トーナメント戦で規程の試合時間内に勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

※決勝のみ前・後半 5 分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

(延長までのインターバルは 3 分間とする)

④PK戦は 3 人で行い、その後はサドンデスとする。

⑤ベンチ内の人数 選手 8 名以内 役員 3 名以内とする(2名以上が望ましい)。

⑥ベンチサイドでの応援は禁止とする。

⑦ベンチはコートに向かって左がトーナメント表の左とする。

12. 競技規則

①公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」による。
2016 年改正新ルールを適用する。

②グラウンドの広さは68×50mとし、ゴールは5×2.15m(少年用)を使用する。

③この大会の試合球は、1・2 回戦は、チーム持ち寄りとする。

以降の試合は、大会本部で準備する。モルテン製「ヴァンタッジオ 5000 キッズ(F4V5000・4 号球)」

④テクニカルエリアを設ける。

⑤試合の開始 60 分前に、本部にて当該チーム代表者 1 名のマッチミーティングを行う。

提出物: メンバー表/ユニフォーム正副/試合球/選手・指導者登録証/あればユニフォーム広告掲示承認書

13. 競技者の数及び交代

①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

②登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、
再び出場することができる。交代の回数は制限されない。

③ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

④試合中、不慮の事故等で選手が6名以下になった場合は試合中止(棄権)とする。

※棄権とは、チームは負けとし、(0-5)とする。

14. 競技者のユニフォーム

- ①(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に従った正副のユニフォームを用意すること。
- ②フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合はピブス不可。
セカンドユニフォーム、ゴールキーパーユニフォームの順に着用すること。
- ③背番号は1～99番とする。

15. 警告・退場

- ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ②本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、
それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
- ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④本大会の規律委員会の委員長は、山形県サッカー協会4種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。
- ⑤ベンチ(役員)が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、
主審から一度注意を受けたのちに再度同様な行為があった場合、主審の判断により、退席処分とする。

16. 審判員

各チーム帯同審判「2名その内1名は3級審判以上の資格を有する」の準備をする事。
帯同審判は、審判登録証を持参し該当試合の前に本部に提示する事。

17. 組み合わせ

「別紙の通り」

18. 上位大会への出場権

- ①優勝チーム・選手には第40回全日本少年サッカー大会への出場権を与える。
- ②優勝・準優勝・3位チームには、12月開催のフジパンカップへの出場権を与える。

19. 参加申込

- ①「参加チーム」は公益財団法人日本サッカー協会 WEB 登録システムにて必要事項を入力の上、
2016年10月11日(火)～10月18日(火)9:00までに申し込みを完了する事。
期日を過ぎた申し込みは受け付けられません。
- ②申し込み後の選手変更・追加などは地区4種委員長の承認を受け、規定の書式を初戦のマッチミーティング時に
提出する事で認める。以降期間中の変更は認めない。

20. 参加費

全チーム ¥3,000円(大会抽選会時に大会事務局に納入する事)
ラウンド32から出場するチーム ¥5,000(試合当日に大会事務局に納入する事)

21. 連絡先

チーム・大会に関するお問い合わせ:所属地区4種委員会
エントリーシステムに関するお問い合わせ:JFA登録サービスデスク TEL:050-2018-1990
その他のお問い合わせ:山形県サッカー協会 TEL:023-626-5422 担当大沼

22. その他

- ①開会式は行わない。
- ②本大会の実施に関して、本大会要項に定めない事項や、本大会参加中、試合中に限らず、
選手に対する著しい言動等があった場合は、本部にて事実確認し処分の対象とする。

以上